白色・赤外線イメージスキャナ

商品名/型番:IRGB-6500 モデル名:201911A1(反射モード)

:201911A2(反射モード/透過モード)

取扱説明書

Rev.E

2023.3.28

アイメジャー株式会社

改変履歴

Revision	制定日	理由由
А	2019.12.16	・新規制定
В	2020.6.8	・入力機器選択における選択機種変更
С	2021.1.14	・スキャナ駆動ソフトウェアを iMeasure Scan Pro に変更
D	2022.9.2	・オペレーティングシステムに Windows11 を追加
		・iMeasureScan Pro のバージョンアップに伴う修正
E	2023.3.28	・オペレーティングシステムから Windows8.1 を削除

赤外線イメージスキャナ IRGB-6500 をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。 この取扱説明書では、赤外線イメージスキャナ IRGB-6500 のセッティング、および、スキャナ駆動ソフ トウェア iMeasure Scan Pro を使ったスキャンまでを順を追って説明します。

1. 準備

- 1-1. 必要な装置の確認
 - □ パーソナルコンピュータ

オペレーティングシステム : Windows 10 / 11 64bit 版

- □ USB ケーブル
- □ 原稿カバー
- □ IRGB-6500 本体



(写真は 201911A2(反射モード/透過モード)の場合で、透過原稿ユニットを装着した 状態です。)

□ 透過原稿ユニット(併せてご購入の場合)

□ スキャナ駆動ソフトウェア Epson Scan 2

iMeasure Scan Pro (+USB ドングル)

1-2. ソフトウェアをインストールする

(※この時、スキャナはまだ PC に接続しないようにしてください。)CD-R の中の、イメージスキャナ用のソフトウェアドライバー『Epson Scan 2』をインストールします。

次に、CD-Rの中の『iMeasure Scan Pro』をインストールします。

1-3. キャリッジロックを解除する



キャリッジ(心臓部の光学ユニット)の 固定装置『キャリッジロック』を解除し ます。レバーを持ち上げて、UNLOCK 側にスライドします。 1-4. 透過原稿ユニットを取り付ける(透過原稿ユニットを併せてご購入の場合)



透過原稿ユニットを取り付けます。

(※注意)透過原稿ユニットに付属の保護マットの扱いについて。

- ・電源投入時は外して下さい。
- ・反射モードでスキャンする場合は原
 稿浮きを抑える為に取り付けて下さい。



1-5. 透過原稿ユニットのキャリッジロックを解除する(透過原稿ユニットを併せてご購入の場合)



透過原稿ユニットの内側にあるキャリッジロック (輸送時固定ネジ)を Unlock 側へ回転します。 輸送時前には、Lock 側へ回転します。 1-6. 原稿透過ユニットのケーブルを接続する(透過原稿ユニットを併せてご購入の場合)



原稿透過ユニットのケーブルを接続します。

(※注意)接続前に電源が入っていないことを確認して下さい。

電源を入れたままで透過原稿ユニットのケーブルの 抜き差しを行うと装置故障の原因となります。

1-7. 電源ケーブルを接続する



A C100V 電源ケーブルを接続します。

1-8. 本体電源スイッチを入れる



IRGB-6500 は、電源投入時に光源の光量に 応じて校正 (キャリブレーション)を行いま す。Ready (緑色)ランプが点滅している間 は、使用できません。Ready ランプが<u>連続点</u> 灯状態になりましたら次に進みます。

1-9. USB ケーブルを接続する(写真は、透過原稿ユニットを併せてご購入・接続の場合)



USB ケーブルを IRGB-6500 背面に接続しま す。もう片方を PC の USB ポートに接続し ます。

初めてソフトウェアを PC にインストールし た後の最初の1回目は、USB ケーブルを接続 した直後、スキャナが自動認識されます。(名 称:DS-G20000)。その後、スキャナ用ドライ バー(TWAIN datasource)が自動的にインス トールされます。 1-10. 透過原稿をスキャンする場合

・透過原稿(フィルム等)をセットする際には、下記に注意下さい。

	Film Area	
1		
	Ц	

原稿台のこの領域は、「透過原稿用白基準」領域と呼び、 透過モード時の校正用データ取得に使用する重要な領域ですので、 清浄に保って下さい。 2. スキャナ駆動ソフトウェア iMeasure Scan Pro で画像を取り込む

2-1. iMeasure Scan Pro を起動します。



<USB ドングル>

USB ドングルを PC に挿入した状態で、起動すると下記のメインダイアログが表示されます。

iMeasureScan_Pro(4.0.1)	- 🗆 X
・MeasureScan_Pro(4.0.1) プレビュー画像 スキャンモニタ)	(1) スキャン条件設定 解像度: 200x200 [ppi] 階 調: 24bit カラー 光 源: 反射白色 (2) ブレビュー (3) スキャンモード ロタイムラブススキャン有効 「焦点ブラケットスキャン有効 スキャン+ファイル保存 ー括スキャン+ファイル保存 「オスキャン+ファイル保存 「オスキャン+ファイル保存 「クイムラブススキャン スキャン問題: 0 マ 時間 0 マ 分 0 マ 秒 「スキャン回数で終了 1 回 (6) 焦点位置: 0.0 マ 「) 焦点ブラケットスキャン スキャン回数で終了 1 回 (6) 焦点位置: 0.0 マ 「の マ へ 0.0 マ mm 『ビッチ 0.2 マ mm 『 こスキャン回数 2 マ 回 (8) 保存先: 選択…
(2) 取込範囲[inch] 開始位置 原稿サイズ 0.00 0.00 12.20 16.50 約 23.0 MB □ 取り込み範囲固定	終了 IRGB-6500

スキャン条件設定

このボタンをクリックすると、「スキャン条件設定」の画面が現れます。(次ページ)

スキャン条件設定		×
TWAIN入力機器:	EPSON DS-G20000	① 入力機器選択 OK Cancel
解像度 3 200 ▼	[ppi]	 光源の選択 ② ● 反射白色 ○ 反射赤外線
プレビュー時の解像度— ④ 50 [ppi]	☑ 自動設定 [ppi]	○ 透過白色 ○ 透過赤外線 ▼ 起動時常に反射モードとする
スキャン階調設定 白色 RGB Color © 24 bit © 48bit	Gray Scale O 8 bit Dropout O 16bit R 💌	- 赤外線 Gray Scale
プレビュー寸法表記 ⑥ ① inch	C mm	保存ファイル名設定 ファイル形式 TIFF <
(8) ☐ Densitom	eterモードで動作	2GBを超えるファイルサイズ、または、16/48bitスキ ャン時の保存ファイル形式は、自動的にTIFFIに設定 されます。 ⑦ • 8桁連番 〇 年月日_時分秒 〇 年月日_4桁連番
スキャン画像待ちタイム7	⁷ ウト ▼ [秒]	 □ 文字列追加 後方追加 ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ ✓ <!--</td-->

① 入力機器選択

使用するスキャナを選択します。本機では、DS-G20000を選択して下さい。

ソースの選択	×
ソース: EPSON DS-G20000 6.4 (32-32) EPSON ES-10000G 3.49 (32-32) EPSON TWAIN 5 5.71 (32-32) WIA-EPSON DS-G20000 #3 1.0 (32-32)	選択 キャンセル

2 光源の選択

光源の種類と、原稿種を選択します。

「プレビュー」、「スキャン+ファイル保存」の場合に適用されます。

 3 解像度

取り込み解像度を設定します。

④ プレビュー時の解像度

プレビュー実行時の解像度を設定します。

通常は自動設定で使用します。自動設定でない場合には、50ppiを推奨します。

- ⑤ スキャン階調設定
 - 白色:白色光源を使ってスキャンした時の階調を設定します。
 - ·RGB Color 24bit : R,G,B 各色 8bit (256 階調)
 - ・RGB Color 48bit : R,G,B 各色 16bit (65536 階調)
 - ・Gray Scale 8bit :グレー8bit
 - ・Gray Scale 16bit :グレー16bit

Dropout :グレーの場合、特定色チャンネルのみの画像にします。 赤外線:赤外線光源を使ってスキャンした時の階調を設定します。

- ・Gray Scale 8bit :グレー8bit
- ・Gray Scale 16bit :グレー16bit

⑥ プレビュー寸法表記

プレビュー画面で取り込み範囲寸法の標記を「inch」か「mm」の選択をします。

⑦ 保存ファイル名設定

ファイル形式とファイル名のつけ方を選択して下さい。

- (8) Densitometer $\pm \downarrow$ ON
 - ON: 設定すると、ガンマ変換が行われない状態でスキャンが実行されます。 濃度測定(反射率/透過率)時には、ONに設定してご使用下さい。
 - OFF: チェックを外すと、ガンマ 2.2 で変換された画像データを取得することができます。 ディスプレイに表示するための画像を取得するとき等は、OFF に設定してご使用下さい。

詳しくは、弊社 HP に掲載の発表論文「日本画像学会技術講習 カラーイメージスキャナの設計技術」 の「3-3-2. ガンマ変換」をご覧ください。 https://www.imeasure.co.jp/support/catalog.html

弊社 BLOG 記事: http://imeasure.cocolog-nifty.com/blog/2009/11/srgb22-2780.html も併せてご覧ください。

⑨ スキャン画像待ち

スキャン画像待ちタイムアウトを設定します。デフォルトの設定(150秒)のままにして下さい。

- (2) プレビューと取り込み範囲の設定
 - プレビューボタンをクリックすると、「スキャン条件設定」に従ってスキャンされた画像が プレビュー画像のタブに表示されます。

	R III	
	Comments of the second s	
	Siem	
_	dak CE	
	an Conto	
	of Patch	
	10 x -	
	-	
	1000	
	-	
- 8	ALL	
	HIE I	

- ・プレビュー画像上の取り込みたい部分をマウスでドラッグすることで、取り込み範囲の設定を することが可能です。
- ・取り込み範囲は、メインメニューの左下に「開始位置」と「原稿サイズ」の数値として表示されます。数値を直接入力することでも設定できます。
- ・「取り込み範囲固定」にチェックを入れると、設定範囲がロックされます。

【注意事項】

 ・TIFF ファイルは 3.8GB、BMP ファイルは 2GB のファイルサイズ制限があります。この制限を 超えないように、スキャン階調と取り込み範囲を設定して下さい。

・原稿サイズは、1inch 以上の値を設定して下さい。1inch 以下の設定をした場合には、意図した 取り込み範囲にならない場合があります。 (3) スキャンモード

【スキャンモードの設定】

□通常スキャン

どのボックスにもチェックを入れない場合は通常スキャンになります。 □タイムラプススキャン有効時

(5)タイムラプラススキャンで設定した条件で、繰り返しスキャンを行います。 □焦点ブラケットスキャン有効時

(7)焦点ブラケットスキャンで設定した条件で、焦点位置を変更しながら、 繰り返しスキャンを行います。

【スキャンの実行】

□「スキャン + ファイル保存」をクリックすると、②光源の選択で設定した原稿種で スキャンします。

□「一括スキャン + ファイル保存」をクリックすると、(4)一括スキャン設定で選択した 原稿種でスキャンします。

(4) 一括スキャン設定

このボタンをクリックすると、下記のメニューが現れます。ここで、 複数の光源を選択すれば、1回の操作で複数の光源による画像を取り込むことができます。

一括スキャン設定	×
	ОК
▼ 反射白色	Cancel
☑ 反射赤外線	
☑ 透過白色	
☑ 透過赤外線	

(5) タイムラプススキャン

スキャン間隔とスキャン回数を設定します。

(6) 焦点位置

焦点位置の設定をします。原稿台ガラス面を基準に、0.2mm 単位で、-1.8mm~+6.0mm の範囲 (+がガラス面の上方向)の焦点位置の設定ができます。

(7) 焦点ブラケットスキャン

スキャン範囲で、焦点位置の開始位置と終了位置を設定します。ピッチで焦点位置の刻みを設定 します。スキャン回数で焦点位置の開始位置と終了位置の分割数を設定します。 ピッチ、スキャン回数はどちらか一方が有効になります。

(8) 保存先

「スキャン + ファイル保存」、「一括スキャン + ファイル保存」におけるファイルの保存先を 設定します。

以 上

お問い合わせ先: IRGB-6500 の使用方法等に関連して、不明な点がございましたら、下記までお気兼ねなく お問い合わせください。 電子メール : <u>info@imeasure.jp</u> 電話 : 0263-50-8651